

令和2年度(2020年度)

管理事業名	住居表示整備事業				総合計画の体系	大綱 - 政策 - 施策 -	-	
主な歳出予算科目	一般会計	(款) 02	総務費	(項) 01	総務管理費	(目) 14	住居表示整備費	
部局名	市民部	予算執行所属		市民課				
予算大事業名	住居表示整備事業							
住居表示整備事業		上記以外の歳出予算科目及び予算大事業名						
事業の目的と概要 住居表示整備事業では、住居表示に関する法律、同施行令及び吹田市住居表示に関する条例、同施行規則に基づき、誰もがわかりやすい住居表示の整備を目的として住居表示の整備や、町名街区案内板、街区表示板の整備等を行っています。								

I 事業の成果(実績)

指標名	単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	成果指標の定義
住居新築届・付番申出受付件数	件	873	1,008	979	住居新築届・付番申出の受付件数
街区表示板整備件数	件	29	37	37	街区表示板の補修などの件数
町名街区案内板整備件数	件	14	13	11	町名街区案内板の修正などの件数
成果の説明	住居新築届・付番申出の受付件数は979件行いました。町名・街区案内板の整備について画面修正を10件、移設を1件行いました。住居表示の整備と表示板類の設置を行い、各建物の所在をわかりやすくすることで、市民の生活を便利で安心・安全なものにしています。				

II 財務情報

◆行政コスト計算書

(単位:千円)

勘定科目	平成30年度	令和元年度 A	令和2年度 B	差額 B-A
地方税	-	-	-	-
分担金及び負担金	-	-	-	-
使用料及び手数料	-	-	-	-
経常収入				
在庫支出金(経常費用充当)	-	-	-	-
府支出金(経常費用充当)	-	-	-	-
財産収入	-	-	-	-
寄附金	-	-	-	-
他会計からの繰入金	-	-	-	-
受取利息及び配当金	-	-	-	-
その他	1	37,800	-	△37,800
経常収入 小計(a)	1	37,800	-	△37,800
経常費用				
給与関係費	23,203	23,289	19,110	△4,179
物件費	38,842	1,858	2,439	582
維持補修費	348	341	-	△341
社会保障扶助費	-	-	-	-
負担金・補助金・交付金等	-	-	-	-
特別会計への繰出金	-	-	-	-
減価償却費	-	7,560	7,560	-
費用				
徴収不能引当金繰入額	-	-	-	-
賞与引当金繰入額	1,959	1,976	1,808	△169
退職手当引当金繰入額	1,688	479	△1,847	△2,326
支払利息	-	-	-	-
その他	-	-	-	-
経常費用 小計(b)	66,040	35,503	29,070	△6,433
経常収支差額(a)-(b)=(c)	△66,039	2,298	△29,070	△31,367
特別収入				
固定資産売却益	-	-	-	-
その他	-	-	-	-
特別収入 小計(d)	-	-	-	-
特別費用				
固定資産除売却損	-	-	-	-
その他	-	-	-	-
特別支出 小計(e)	-	-	-	-
特別収支差額(d)-(e)=(f)	-	-	-	-
一般財源調整額(g)	-	-	-	-
当期収支差額(c)+(f)+(g)	△66,039	2,298	△29,070	△31,367
一般財源充当額	66,363	29,186	25,034	△4,151
一般会計からの繰入金	-	-	-	-
一般会計への繰出金	-	-	-	-
再計	324	31,483	△4,036	△35,519

行政コスト計算書の主な増減理由(特徴的な事項)

勘定科目	決算額の主な内容
給与関係費	職員人件費 19,110千円
物件費	旅費 1千円 需要費 842千円 委託料 1,596千円

◆キャッシュ・フロー収支差額集計表

(単位:千円)

区分	平成30年度	令和元年度 A	令和2年度 B	差額 B-A
行政サービス活動収入	1	0	-	△0
行政サービス活動支出	66,364	29,186	25,034	△4,152
行政サービス活動収支差額	△66,363	△29,186	△25,034	4,151
投資活動収入	-	-	-	-
投資活動支出	-	-	-	-
投資活動収支差額	-	-	-	-
財務活動収入	-	-	-	-
財務活動支出	-	-	-	-
財務活動収支差額	-	-	-	-
収支差額 合計	△66,363	△29,186	△25,034	4,151
一般財源充当額	66,363	29,186	25,034	△4,151
一般会計からの繰入金	-	-	-	-
一般会計への繰出金	-	-	-	-
前年度からの繰越金	-	-	-	-

キャッシュ・フロー収支差額集計表の特徴的な事項

決算額の主な内容	(行政サービス活動支出) 吹田市住居表示台帳システム保守業務委託料 1,042千円ほか
----------	---

◆単位あたりのコスト分析(「経常費用 小計(b)」を「実績」で割って円単位で算出しています。)

指標名	年度	実績	単位あたりコスト	分析内容(前年度との増減理由)
市民1人あたりのコスト	平成30年度	371,030 人	178 円	市民1人あたりのコストは 77円です。
	令和元年度	373,978 人	95 円	令和3年3月31日現在の吹田市人口に基づいて計算しています。
	令和2年度	376,944 人	77 円	前年度より 18 円コストが減少したのは、主に給与関係費の減少によるものです。

◆貸借対照表

(単位:千円)

勘定科目	令和元年度末 A	令和2年度末 B	差額 B-A	勘定科目	令和元年度末 A	令和2年度末 B	差額 B-A
現金預金	-	-	-	流動負債	1,976	1,808	△169
未収金	-	-	-	地方債	-	-	-
流動資産	-	-	-	短期借入金	-	-	-
財政調整基金	-	-	-	賞与引当金	1,976	1,808	△169
短期貸付金	-	-	-	未払金	-	-	-
徴収不能引当金	-	-	-	リース債務	-	-	-
流動資産	-	-	-	その他流動負債	-	-	-
有形固定資産	-	-	-	固定負債	18,681	15,325	△3,356
土地	-	-	-	地方債	-	-	-
建物・工作物	-	-	-	長期借入金	-	-	-
リース資産	-	-	-	退職手当引当金	18,681	15,325	△3,356
建設仮勘定	-	-	-	リース債務	-	-	-
無形固定資産	30,240	22,680	△7,560	その他固定負債	-	-	-
有形固定資産	-	-	-	負債の部合計	20,658	17,133	△3,525
土地	-	-	-	純資産	9,582	5,547	△4,036
建物・工作物	-	-	-	出資金	-	-	-
建設仮勘定	-	-	-	長期貸付金	-	-	-
重要物品	-	-	-	基金	-	-	-
図書館資料	-	-	-	徴収不能引当金	-	-	-
投資その他の資産	-	-	-	その他債権	-	-	-
出資金	-	-	-	資産の部合計	30,240	22,680	△7,560
長期貸付金	-	-	-	負債及び純資産の部合計	30,240	22,680	△7,560
基金	-	-	-				
徴収不能引当金	-	-	-				
その他債権	-	-	-				

Ⅲ 財務構造分析

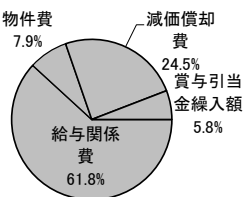
▽人にかかるコストの内訳

事業従事人数	常勤・再任用	会計年度任用等	特別職非常勤	合計(千円)
	月平均	年間従事延日数	年間従事延日数	
	2.58人			19,070
給与関係費等	19,070千円			
内、時間外勤務手当	755千円			

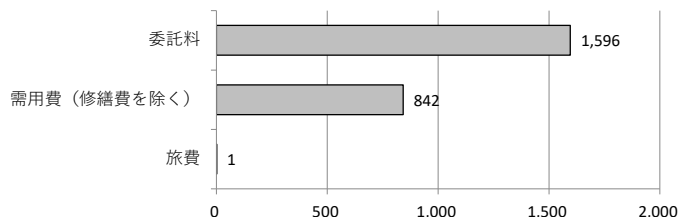
貸借対照表の主な増減理由(特徴的な事項)

勘定科目	増減理由
無形固定資産	住居表示台帳システム(ソフトウェア)の減価償却により7,560千円の減

▽経常費用の構成割合



物件費の内訳(単位:千円)



▽分析指標

分析指標	年度	(単位:%)			差 B-A
		平成30年度	令和元年度 A	令和2年度 B	
受益者負担比率		-	-	-	-
徴収不能引当率		-	-	-	-
一般財源充当比率		100.0	100.0	100.0	0.0

▽その他特記事項

Ⅳ 総括

▽分析結果の説明

事業に係るコスト全体の61.8%にあたる19,110千円が給与関係費、5.8%にあたる1,808千円が賞与引当金繰入額です。また、7.9%が物件費2,439千円となっています。物件費のうち65.4%にあたる1,596千円が委託料、842千円が需用費(消耗品費、印刷製本費)、1千円が普通旅費です。事業の財源は、すべて一般財源でまかなわれています。

▽分析結果を踏まえた事業の課題

住居表示台帳システムの利用により、住居表示台帳の作成・修正作業における正確性・効率性を向上させることができました。